




製品ラインナップ

<p><b>推奨</b> 1日平均10万通 600ユーザ以下</p>  <p>TERRACE MAIL Security - Standard</p> <p>8GB Mem, 1TB, 1U Half Rack</p>
<p><b>推奨</b> 1日平均30万通 1,000ユーザ以下</p>  <p>TERRACE MAIL Security - Enterprise</p> <p>16GB Mem, 2TB*2, RAID-1 1U FULL Rack</p>
<p><b>推奨</b> 1日平均60万通 10,000ユーザ以下</p>  <p>TERRACE MAIL Security - Enterprise Plus</p> <p>32GB Mem, 2TB*2ea Raid-10, 2U FULL Rack</p>

**TERRACE MAIL Security Virtual Appliance for VMware**

- OS+TMSeを仮想アプライアンスとして提供
- 動作環境
  - ✓ ESX サーバ：ESX Version 5.5 以上
  - ✓ 仮想メモリ：8G 以上
  - ✓ OVA デプロイ時のサイズ：50GB (/maildata と /tmwdata のハードディスクが別途必要)

※サーバの製造元によりハードウェアのスペックは変更する場合があります。※サイジングは、別途お問合わせください。

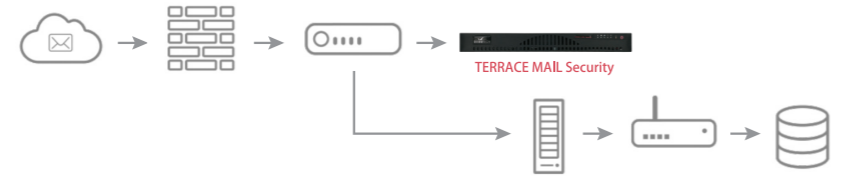
導入構成

**Bridge モード** ※TERRACE MAIL Securityとメールサーバとはcross cableで繋ぐ



- メールサーバの前に挿入するだけで確実に全メールの処理が可能な万全の構成
- DNSレコードやメールサーバの設定変更は不要
- ハード障害発生時でも、Bypass-cardによるメールの送受信を実現

**Proxy モード** ※DNSのMXレコード登録が必要



- 物理的な構成を一切変更する必要が無く、スムーズに導入が可能な構成です。
- DNSのMXレコードを変更し、メール経路を変更
- TERRACE MAIL Securityに受信し、正常メールのみメールサーバに転送
- Outboundメール - メールサーバの設定 (relayなど) が必要
- マルチ構成可能 - Multi server Single admin (Master-Slave)

4つのメールセキュリティ対策を  
オールインワンで提供

# TERRACE MAIL Security

- 1 スпам ウイルスメール 遮断
- 2 APT 攻撃遮断 メール無害化
- 3 メール誤送信 対策
- 4 送受信メール 保管



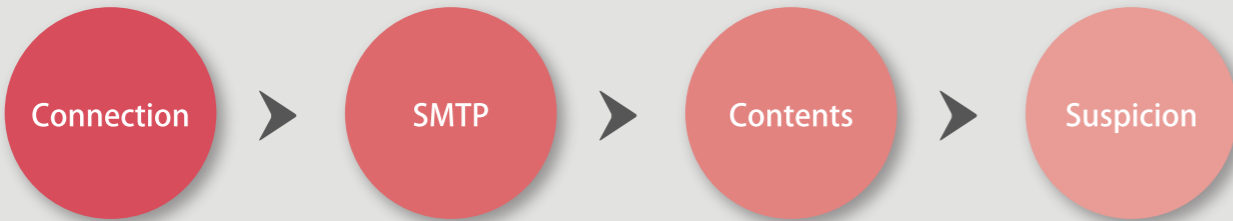
お問い合わせ

# オールインワンだから漏れのないセキュリティ対策が可能に！ 運用・管理の負荷も低減でき低コスト。



## 4段階のスパム専用フィルタで高い精度のスパム遮断

巧妙化するスパムを遮断するために、4段階の専用フィルタを搭載。  
新種のスパムへ対応するために、5種類のライブアップデートフィルタも。



- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <p><b>1</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RBL遮断</li> <li>2. 同時接続数制限</li> <li>3. IP遮断</li> <li>4. 受信無履歴IP確立遮断</li> <li>5. 有害メール送信数制限</li> </ol> | <p><b>2</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. DNS検査</li> <li>2. SPF検査</li> <li>3. 送受信遮断</li> <li>4. 送・受信者フィルタ</li> <li>5. 最大受信者数制限</li> <li>6. 同報メール応答遅延</li> </ol> | <p><b>3</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Terraceパターンフィルタ</li> <li>2. Terrace学習型フィルタ</li> <li>3. スパムフィンガープリント</li> <li>4. RPDフィルタ</li> <li>5. ウイルスフィルタ</li> <li>6. 管理者登録</li> </ol> | <p><b>4</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習型APTフィルタ</li> </ol> |
|--|---|---|---|



## 上長承認などの誤送信対策と送信メール暗号化

メールからの情報漏洩を防ぐために、「送信遅延/一時保留」「上長承認」「送信メール暗号化」の3つのセキュリティ対策を統合。



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p><b>誤送信防止フィルタ設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な条件のフィルタ設定</li> <li>・グループ単位設定可能</li> </ul> | <p><b>上長承認フィルタ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付ファイルの存在可否</li> <li>・添付ファイルの拡張子制限</li> <li>・個人情報の件数による制限</li> <li>・多様な条件、フィルタ設定可能</li> <li>・代理承認、自動処理</li> <li>・部署、グループ単位の設定</li> </ul> | <p><b>送信メール暗号化設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付ファイル付きメールなど</li> <li>・多様な条件設定可能</li> <li>・添付ファイルのみZIP暗号化送信</li> <li>・添付ファイルのみ(linkメール)送信</li> <li>・メール全体を暗号化(linkメール)送信</li> </ul> |
|--|---|---|



## 履歴学習によるAPT遮断、メール無害化も

一目では気づかない不審メールを検知し、受信者に注意喚起警告をすることによって標的型メールから組織を守る予防対策が可能。通常受信するメールの送信パターンを分析し、遮断、通知を通じて添付ファイルまたは本文内のURLに対してうっかりクリックによる不正コードの流入を防止。



- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>モニタリングフィルタ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング対象メールの設定</li> <li>・項目設定及び、通知、保存方法設定</li> <li>・ストレージ節約のため、圧縮保存</li> </ul> | <p><b>APT攻撃遮断(履歴学習)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終転送メールサーバ</li> <li>・最初送信メールサーバ</li> <li>・メールクライアント種類</li> <li>・送信者の接続端末情報</li> <li>・経由国検査</li> </ul> | <p><b>添付ファイルの拡張子偽装検査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付ファイルに実行ファイルの存在可否を検査</li> <li>・二重拡張子検査、添付ファイルRLO検査</li> </ul> |
|---|---|---|

“APT攻撃検知のための添付ファイル検査システム及び検知方法” 特許取得



## メール保管まで実現！ オールインワンならではの運用・管理負荷低減

送受信メールのメールデータをリアルタイムで保存し、インデックスを利用したメールデータの検索、復元が可能。送受信メールの一次保管により、万が一の際のメールデータ復旧にも効果的に活用できる。ウィ젯形式のダッシュボードでは、わかりやすい統計を提供。

